



CO₂を実質ゼロに！ ゼロカーボンへの挑戦

問い合わせ／環境課計画担当(内線3120)

本市は、令和3年10月1日に「鴻巣市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指しています。
このコーナーでは、ゼロカーボン(脱炭素社会)に向けた取組などを紹介します。

今回のテーマは 今できること 廃棄物編 です。

毎日の生活で出るごみなどの廃棄物は、焼却するときには温室効果ガスを発生させるだけでなく、ごみ処理場への運搬やリサイクルなどには、多くのエネルギーが使われます。
ごみを減らすことが二酸化炭素の排出量を減らすことにつながります。市では4つのR「4R」の取組を推進しています。

- Reduce (リデュース) : ごみをもとから減らす**
- Refuse (リフューズ) : ごみになるものを断る**
- Reuse (リユース) : くりかえし使う**
- Recycle (リサイクル) : 資源として再利用する**

地球にやさしい「4R」の取組

Reduce
バラ売り・量り売り・詰め替え用の商品を選ぶ

Reuse
使い捨てのものをなるべく買わないようにしましょう

Refuse
マイバッグ使用でレジ袋を減らしたり、不要なおまけは断ろう

Recycle
ごみの正しい分別を心がけよう

海の生き物があぶない！ 海洋プラスチックごみ問題

近年、プラスチックなどの海洋ごみを動物が飲み込むなど、ごみが生態系へ及ぼす影響等が問題となっています。

ごみの問題は、私たちの行動で改善することができます。一人ひとりが意識を変えることから始めましょう。
次回は連載最後となります。地球温暖化について、改めて学び、家族や周りの人と話し合ってみましょう。

分別クイズ！ これって何ごみ？

問い合わせ／環境課廃棄物・リサイクル担当(内線3128)

コロナ禍によるおうち時間の増加とともに、ごみの排出量が増え、誤ったごみの捨て方が増えています。ここでは、問い合わせが多いごみの捨て方を紹介します。

① 保冷剤

① 燃やせないごみ

② 使用済みの手持ち花火

② 燃やせるごみ (未使用のものは処理困難物)

③ 水着

③ 燃やせないごみ

捨て方などの詳細は「ごみと資源の分別マニュアル」をご覧ください。また、YouTubeでごみの出し方紹介動画を配信しています

処理困難物は一般廃棄物処理許可業者に依頼してください

答え